

## 荒廃森林再生事業の実施状況

	H20	H21	H22	H23	H24	計
下刈	0	1.57	5.41	5.41	5.41	17.8
間伐	28.24	28.42	38.52	44.56	26.43	166.17
除伐	0	1.02	1.38	0	0	2.4
枝落とし	3.62	1.49	0.13	1.24	2.4	8.88
広葉樹の植栽	1.57	3.84	0	0	0	5.41

下刈:植栽木の成長を促すために、下草などを切ること。

除伐:植栽木の成長を妨げる他の樹木を伐採すること。

枝落とし:無節の良産材を得るためにや花粉の抑制のために、5m以下の枝を落とすこと。

○実施主体 間伐などの工事は、町から請け負った事業者が行います。(森林所有者が作業をする必要はありません)

○費用負担 町が全額負担(森林所有者の費用負担はありません)

- 事業実施の際には、町と森林所有者が協定を締結する必要があります。
- 協定の内容や対象森林などの要件の詳細は、産業振興課農政係までお問い合わせください。



## まちの現状と取り組み



大平樂で行われた敬老の日イベント  
間伐材のヒノキの輪切りに、町内の園児などが祖父母への感謝のメッセージを書いたものを  
湯船に浮かべた「100のありがとう風呂」の様子

上毛町は、町土の約6割を森林が占め、京築ヒノキに代表される豊かな森林に囲まれています。森林は、木材などの林産物を供給するとともに、おいしい水や空気を育み、土砂災害や洪水を防いでくれます。また、二酸化炭素の吸収源として地球温暖化の防止に貢献するなどの公益的機能を有し、私たちの生活に大きな恵みを与えてくれます。

しかし、長期にわたる木材価格の低迷による林業の不振を理由に、間伐※などの手入れが行われないと森林の荒廃が進んでしまいます。放置したままだと、森林の有する公益的機能が十分に発揮されず、洪水や渇水、土砂災害が発生する可能性が高まるなど、私たちの安全・安心な暮らしへの影響が強く心配されます。

森林を健全な状態で次世代へ引き継ぐため、平成20年度から導入した森林環境税を活用し、荒廃した森林の間伐などをを行う「荒廃森林再生事業」に取り組んでいます。

上毛町の貴重な財産である豊かな森林を次世代に引き継ぐため、今後の森林(もり)づくりについて考えてみませんか。

※成長に伴って混み合った樹木の一部を伐採(間引き)

## 地域のブランド材「京築ヒノキ」利用の推進



豊築森林組合  
Interview

地域の森林は俺たちが守る

豊築森林組合の皆さん  
京築地域で多く産出される「京築ヒノキ」の特徴は、薄紅色で年輪幅が小さく、スギや一般ヒノキに比べて比重が重く、破壊強度や曲げにも強い特性があるといわれています。



京築地区の自治体や森林組合などで構成する京築地区森林業推進協議会では、地域材利用推進部会を中心に、地域の木材に触れ、その良さを感じられる、いろいろな取り組みをしています。実際に山に行つて枝落としの体験などをする森林林業体験学習会や、木の切り出しから製材の工程、地域材で建てられた家などを見学するエコツアーやなどを開催しています。

また、小学校での木工教室の開催や、公共施設などに木製品の寄贈を行っています。大平支所にある長いすや「ゆいききら」のテーブルセットは、ここから寄贈されたもので、木製品からの香りや木のぬくもりを感じることができます。利用者に好評です。

これからも多くの方に「上毛町ブランド」として「京築ヒノキ」を利用してもらえるように推進を図っていきます。

京築地域で多く産出される「京築ヒノキ」の特徴は、薄紅色で年輪幅が小さく、スギや一般ヒノキに比べて比重が重く、破壊強度や曲げにも強い特性があるといわれています。

京築地区の自治体や森林組合などで構成する京築地区森林業推進協議会では、地域材利用推進部会を中心に、地域の木材に触れ、その良さを感じられる、いろいろな取り組みをしています。実際に山に行つて枝落としの体験などをする森林林業体験学習会や、木の切り出しから製材の工程、地域材で建てられた家などを見学するエコツアーやなどを開催しています。

また、小学校での木工教室の開催や、公共施設などに木製品の寄贈を行っています。大平支所にある長いすや「ゆいききら」のテーブルセットは、ここから寄贈されたもので、木製品からの香りや木のぬくもりを感じることができます。利用者に好評です。

これからも多くの方に「上毛町ブランド」として「京築ヒノキ」を利用してもらえるように推進を図っていきます。



## 間伐は健全で良質な木を育てます

## 間伐しないと

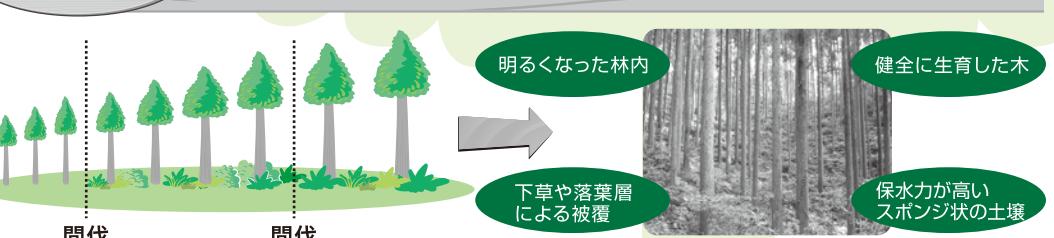
木の成長が抑制され、モヤシ状の木になってしまいます。  
このような森林は病虫害や風雪害を受けやすくなります。



間伐などの手入れが行き届かない荒廃した森林は、日光の不足により下草などが貧弱になり、降雨により土壌が流されて、木の根がむき出しになっています。  
近年このような荒廃した森林が増加しています。

## 間伐すると

幹が太く、枝葉がしっかりとしたまっすぐで良質な木を育てます。



間伐などの手入れを適切に行えば、十分な日光が林内に差し込み、下草や落葉層が豊かになり、水源かん養や土砂流出防止などの公益的機能の高い森林が維持され、町全体がその恩恵を受けます。

この「一ナ」は、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために、町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものです。今月は、「荒廃森林再生に向けた取組」の現場からお届けします。

特集  
まちづくりの  
現場から